

平成26年1月28日（火） 開発審査会 議事録

出席者 【開発審査会】

安田会長、古戸委員、千葉委員

【建築住宅課（事務局）】

原田課長、田澤課長代理、阿保GM、佐藤ガマ、楠美主幹、盛主査

【平川市】

白戸課長、山本課長、中江係長、工藤技師

傍聴者 1名（マスコミ）

議事

【司会（建築住宅課 建築指導グループ 楠美主査）】

これより開発審査会を開会いたします。

はじめに、原田課長より挨拶を申し上げます。

【挨拶（田澤建築住宅課長代理）】

（略）

【司会】

それでは、これより議事に入ります。

今回の審査会については1件の諮問案件があり、「青森県開発審査会の公開等に関する取扱要領」に基づき公開となります。

（事務局より位置についての説明）

それでは安田会長、議事の進行をお願い致します。

【安田会長】

それでは、第1号議案についてお願いします。

○第1号議案 平川市諮問：

都市計画法第43条の建築等許可について（木質バイオマス発電所、木質バイオマス供給施設）

【平川市】説明者：工藤技師

（追加資料の配布及び議案説明書にて説明）

【安田会長】

ただいまの説明について、何か質問ありますでしょうか。

【千葉委員】

全て市が所有している土地ですか。

【平川市】

図面の右側、半分くらいが旧尾上町で処分場として利用していた土地、貯木場となる部分が市が所有している土地となります。現況写真で、田んぼでない部分が市有地です。

【安田会長】

処分場は一般廃棄物ですか。

【平川市】

一般廃棄物です。

【安田会長】

処分場は完了してしまい汚水とかも無くなったので、埋め立てしたと思いますが…

【平川市】

処分場については、終了し機能が無くなった後でも定期的な水質検査が義務付けられており、その検査でクリアし問題がなくなった時点で廃止となります。この処分場が廃止となったのは、平成24年の9月で、跡地指定されたのが同年11月になっており、このような軽易な使用であれば届出で良いということで、市及び県の環境部局と協議済みとのことです。

【古戸委員】

総事業費が結構大きいのですが、これは全部出資で…

【平川市】

発電所については出資となっています。それ以外については融資で行う予定です。

チップ工場については半分が補助金、林政サイドの補助金がございますので、協議しており、許可が整った時点で申請となります。

【千葉委員】

いつ頃から稼働する予定ですか。

【平川市】

チップ工場が27年4月、発電所が27年9月の予定となっています。

【安田会長】

林政の補助金はどのくらい出るのですか。

【平川市】

チップ工場の方の1/2で程度になるとのことです。

【古戸委員】

バイオチップの立面図で白抜きになっているところは、オープンになっているようですが、可燃物を扱う施設ですし、何か安全策はとらないのですか。

【平川市】

発電所の方は24時間稼働としていることから、敷地全体で考えると人がいなくなることはないのですが、会社自体が別となっていることから、こちらから注意喚起の方をしていきたいと思っております。

【安田会長】

敷地内に管理事務所が一つしかないのですが、発電所の方の事務所はどうなるのですか。

【平川市】

メインの事務所は、この事業を立ち上げた、同じ市内にある環境保全（株）があるのですが、そこに事業所があり、ここで簡易的な事務を行うには、タービン建屋の2階に中央制御室があり、ここに

休憩室もあり監視も行っており、簡易的な事務を行う方も常駐するとなっています。

【安田会長】

トイレが無いですね。24 時間働くには大変ではないか。

発電所の事務所ももう少し検討してください。

これ以上建物が大きくなるということはないですね。

【平川市】

はい。建物が大きくなることはありません。

ご指摘のあった内容については、再度検討するように事業者と話しておきます。

【安田会長】

ボイラーの煙突は、曲がったところで終わりなんですか。

【平川市】

はい終わりです。高さ28mのあたりで終わりです。

曲がっているのは、サイレンサーで25m程度です。

【安田会長】

調整池については、場内の（水）だけ集まって来るのですね。

【平川市】

はい。その他に、黄色の道路部分も含まれます。（今回の開発区域内の部分）

【安田会長】

ここは市道になるのですか。

調整池の容量はどのくらいですか。

【平川市】

はい。黄色の部分は市道になります。また、調整池は960m³の計画です。

【安田会長】

調整池から排水路につなぐのですか。

【平川市】

集水升の手前（の排水路）では流量をまかなえないということで、排水路ではなくポリエチレン管の350（直径mm）でその先の集水升につなぎます。この升が川にヒューム管で接続されており放流されることとなります。

【安田会長】

敷地から漏水しないようにしてください。

また、タービン建屋の方は、道路とそんなに高低差が無いようですが、道路が近いので、自由に入りできるので、フェンスとか必要かと思いますが。

【平川市】

フェンスや防音壁の計画は聞いていませんでした。

先ほど指摘と併せて、安全面について配慮するよう事業者と話しておきます。

【安田会長】

東北電力に売るということですが、送電線とかの電柱はこれから設置するのですね。

【平川市】

（東北電力の送電線に）つなぐことについては東北電力と協議済みで、今回の事業規模ののような6250KWhのものは、33000ボルト（の送電線）につなぐという電力の基準があり、4~500m離れたところに、33000ボルトの送電線があります。現在、つなぎ方の詳細、地中埋設か、

電柱にするのかを協議しているところです。

【安田会長】

あと何か意見はありますか。

(意見なし)

【安田会長】

それでは、旧平賀、旧尾上の中間地点であり、用途地域内に適地もないことや、これにより市街化が促進されることも無いと思いますので、同意ということではいかがでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【安田会長】

それでは、建築について同意するという事に決まりました。

【司会】

本日、審査会で取り上げられました議案は、同意ということで手続きを進めさせていただきます。
これで本日の開発審査会を閉会いたします。ありがとうございました。